

議会報告会報告書

開催日時	令和4年11月12日(土) 午前10時00分～11時43分	
開催場所	飯南コミュニティセンター	
委員会名	環境福祉委員会	
出席議員	沖 和哉委員長 松本一孝副委員長 奥出かよ子 橘 大介 殿村峰代 米倉芳周 海住恒幸	
	司会進行者	沖 和哉
	報告者	奥出かよ子 殿村峰代
	記録者	米倉芳周
参加人数	第1部 9名、第2部 9名	
第2部 形式	ワークショップ形式 (グループ 3班)	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 山本 芳 敬 様

令和4年11月18日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

環境福祉委員会

委員長 沖 和 哉

第 1 部用

【主な質疑応答・意見等】

問 令和 3 年度に実行した「コロナに負けるな！みんなの商品券」事業において、予算に対する執行率は、何パーセントであったか。

また、この事業に対する疑問がある。現金 5,000 円で 8,000 円の商品券が購入できるのだが、今、その 5,000 円が出せない住民もいる。なぜ、その差額である 3,000 円分の商品券を直接届けるような施策ができないのか。

答 予算に対する執行率は 80%であった。また、この事業は、市民への支援に加え、市内事業者様への支援もあるので、より良い効果を考えての施策であるため、ご理解願いたい。

意見 予算の執行率の高さからみると、市民の理解は十分得ていると認識したが、3,000 円商品券の意見もあることを理解してほしい。

第2部用【テーマ名 こどもの医療について】

【主な質疑応答・意見等】(グループ形式(3班))

●A班:窓口負担1,000円について(「子ども医療費助成事業」の未就学児童における窓口負担)

(意見)

- ・最終的には、1,000円は戻ってくるので、返還手続きを考えれば、かえって市の経費負担にならないのかという疑問がある。
- ・もっと広く議論を重ねないとイノベーションは起こらない。
- ・住民サービスの観点からも負担は当然だと考える。
- ・『医療費助成』の考え方からみると、無料にすることではないと考える。
- ・窓口負担ゼロにすると、その他の湿布なども無料となり、市の財政負担を招くのではないのか。

●B班:病児・病後保育について

(意見)

- ・年度初めの4月、5月等は、利用者の増加傾向にあるので、利用枠を増やすことができないのか。
- ・市街地に2か所しか施設がない状況において、この飯南・飯高地域での利用は困難である。近くにもう一か所あればと思う。
- ・飯南・飯高地域のこども園で一時預かりでもよいので、してほしいと思うことがある。
- ・飯南地区に少しでも近い施設があればと思う。
- ・17時までの利用と聞く。もう少し延長していただければと思う。
- ・有益なシステムだと思う。1日2,000円の利用料は妥当である。
- ・現在では、祖父、祖母も働いている。頼るところがないのが、現状である。

●C班:中山間地・へき地の医療について

(意見)

- ・医師及び医院不足の上、かかりたい医療機関へは距離があるのが現実である。
- ・緊急の場合でも、救急車を呼ぶかどうかを真剣に迷う。
(救急車で搬送された場合、自宅へ帰る際、高額なタクシー代を払って乗ってこなければならぬと考えるので。)
- ・子どもの突然の体調の変化に戸惑うことが多い。
(どうすべきか、判断するために、気軽に体調のことを相談できる人や場所が身近にないため。)
- ・相談、困った時のサポートの体制づくりや、遠隔地でのオンライン健診が安易にできる環境があれば助かる。